

展示室がリニューアル! 国立歴史民俗博物館に 行ってみよう

国立歴史民俗博物館では、展示室ごとに時代やテーマを分けて日本の歴史・文化を紹介しています。

このたび、全6室ある展示室のうち第5展示室が約30年ぶりにリニューアル!19世紀末から20世紀初頭、人々の暮らしが大きく変わった時代を、写真・映像や模型などを用いてさまざまな視点から紹介しています。当時の人々が経験した時代の移り変わりをご覧ください。



第5展示室(近代)展示風景

期間限定イベントもお見逃しなく

- ▶5月9日(土)13時~15時(当日先着順)
歴博講演会「くらしのなかの戦争—銃後という社会—」
- ▶5月22日(金)13時30分~15時30分(当日先着順)
くらしの植物苑観察会
「お寺発のお茶づくり—寺院と茶園の中世史—」
- ▶5月31日(日)まで開催中
特集展示「モノと身体」



国立歴史民俗博物館

- 住所** 佐倉市城内町117
- 開館時間** 9時30分~17時(10月~2月は16時30分まで)
※入館は閉館30分前まで
- 休館日** 月曜日(月曜日が休日の場合は翌平日)、年末年始など
- 料金** 一般900円、大学生500円
※高校生以下・18歳未満の方・障害者手帳等をお持ちの方とその介助者無料

☎050-5541-8600(ハローダイヤル)



千葉のコレ知ってる?

137 落花生導入150周年

千葉県は言わずと知れた落花生の大産地。1876(明治9)年に現在の山武市の牧野萬右衛門が神奈川県から種子を取り寄せ試作したのが始まりとされています。主に八街市や富里市、千葉市などで栽培され、いまや国産落花生の約8割を占める生産量を誇ります。県では、全国唯一の「落花生研究室」を設置し、風味のよい「千葉半立」や一般品種の約2倍の大きさと柔らかい食感の「おおまさり」、甘みの強い「Qなっつ」など、さまざまな品種の開発や生産に力を入れてきました。今年は落花生が千葉県に導入されてから150周年。これを記念して、落花生の魅力を皆さんに改めて感じていただけるよう、さまざまな企画を準備しています。



落花生を育ててみよう

落花生は、花がしぼんで地面に落ちた後、地中に豆ができることからその名がつけました。種まきは5月中旬から6月中旬。種まきから40~50日ほどすると、かわいい黄色の花が咲きます。花がしぼみ、その付け根から子房柄と呼ばれる茎が伸びて地中にもぐると土の中で実が育ち、11月にはおいしい新豆が出来上がります。大事なポイントは子房柄がしっかり土にもぐること。土にもぐらないと実がつかないため、子房柄の先端が土に触れるように管理します。来月開催の「ちばみんフェス」の会場では、千葉半立の“種”をプレゼントする企画をご用意しています。今年は、ぜひ、落花生を育ててみませんか?
※記念事業やプレゼント企画など詳しくはホームページをご覧ください。



落花生の花



しぼんだ花と伸びだした子房柄



問 県生産振興課

☎043-223-2830



健康づくりでトクしちゃおう 元気ちば!健康チャレンジ事業

お住まいの市町村で実施している健康診断やウォーキングイベントなどに参加してポイントを貯めよう!貯めたポイントを「ち~バリュ~カード」に交換すると、飲食や施術の割引サービスなど、さまざまな特典を受けられます。

- STEP1** 健康ポイント事業に参加し、健康診断などでポイントを貯める
- STEP2** 貯めたポイントを「ち~バリュ~カード」に交換
- STEP3** 協賛店で「ち~バリュ~カード」を提示して各種特典をGET!

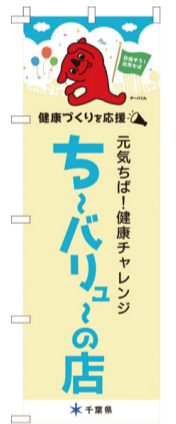
協賛店舗は
1,400店を超え
今後も順次拡大予定!

協賛店はこのデザインが目印です▶

「ち~バリュ~カード」は交付日から1年間有効です。体も心も、もっと元気に!健康習慣を楽しみましょう!



ステッカー



のぼり旗

市町村によって、事業の実施状況やカードの申請方法などは異なります。詳しくはホームページをご覧ください。

問 元気ちば!健康チャレンジ事業事務局

☎070-4480-5997

